

■ スカイマーク×関西大学 PBL 授業における学修成果を検証 ■

2つの学生考案事業を神戸空港で社会実験

- ① 搭乗前の時間を有効活用！ポケットティッシュによるCS向上戦略
- ② お子様をターゲット！POPを活用した「機内誌・絵本」広報戦略

【日時】12月11日（水）14：00～15：00 【場所】神戸空港2階スカイマークチェックインカウンター

関西大学ではこのたび、航空業界が抱えるリアルな課題解決に挑む「プロジェクト学習（航空業界を知る）」において、実際に学生が提案した新規事業の社会実験を、12月11日（水）に神戸空港にて実施します。

本件の
ポイント

- ・春学期開講のPBL授業「プロジェクト学習（航空業界を知る）」で生まれた2つの新規事業の実証実験
- ・スカイマークが抱える課題解決に、学生のユニークな発想でアプローチ
- ・スカイマークの制服を着用し、神戸空港にて実際にお客様を前に考案アイデアを実践・検証

春学期に開講した「プロジェクト学習（航空業界を知る）」では、神戸空港に就航する主力航空会社であるスカイマーク株式会社の協力のもと、「広報・マーケティング」「経営企画」「顧客満足（CS）」の3つの観点から、新規事業の提案に学生たちが取り組みました。具体的に学生に与えられた課題は以下の4つです。

- 〈広報・マーケティング〉スカイマークのお客様が読みたくなる機内誌企画の提案
- 〈経営企画〉神戸空港の利用を促進する提案
- 〈経営企画〉スカイマークに乗りたくなる新規路線就航
- 〈顧客満足(CS)〉スカイマークにおける顧客満足調査の特徴と課題

これらに対し学生がスカイマークにプレゼンテーションを行い、評価され実際に実証実験にまで至ったものが以下の2つの事業アイデアです。

- ① 「搭乗前の待ち時間ストレスを軽減させる、お役立ち情報などを掲載したポケットティッシュによるCS向上戦略」
- ② 「お子様を第一ターゲットとした、機内誌・絵本を手にとってもらうためのPOP広報戦略」

①の狙いは、手荷物検査場や搭乗前の長い列で待っているお客様に、広告やちょっとしたお役立ち情報を添えたティッシュを配ることでストレスを軽減させ、CS向上と広報強化につなげること。②の狙いは、お子様が手に取りやすいアイテムを媒体に、親御さんが各情報誌を手にとるきっかけをつくること。プレゼンテーションの際にスカイマークからは、それぞれすぐに取り組みやすく実用的だと評価されました。

社会実験当日は、学生が神戸空港に赴き、スカイマークの社員と協働してそれぞれの提案事業の効果を検証します。なお、学生たちはスカイマークの制服を身に纏い、実際にお客様を前にして、リアルな反応を肌で体感しながら実践する予定です。

つきましては、ぜひ取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

< 神戸空港での社会実験の概要 >

【日時】12月11日（水）14：00～15：00（※取材可能時間を限定しております）

【集合場所】神戸空港2階 スカイマークチェックインカウンター

【内容】PBL授業の学修成果として、学生らの提案事業の効果を社会の現場で実際に検証する。
各取組みの狙いや概要は次ページをご参照ください。

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：寺崎、浦田

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

■ 社会実験の詳細

①「スカイマークをイメージしたポケットティッシュのデザイン、作成、配布」

(狙い) 手荷物検査場や搭乗前の長い列で待っているお客様にティッシュを配りストレスを軽減させる

(概要) ポケットティッシュにスカイマークの宣伝を入れ、かつ上空での耳鳴り等の防止や耳抜きにポケットティッシュを活用する方法を記載する。担当学生らの調査の結果、約 80%の人が飛行機に乗った際に耳が痛くなる経験をしており、約 90%の人が「もしポケットティッシュが配られていたら」の質問に「受け取る」と回答。ここに着目し、「企業の宣伝」と「知っている役に立つ知識」を併せ持つポケットティッシュを配布することで、CS の向上と広報強化につなげる。



<①ポケットティッシュのデザインイメージ (プレゼン時の学生案) >

<②POPイメージ (プレゼン時の学生案) >

②「機内誌・スカイマーク広報誌 (絵本) を手にとってもらうための POP の作成」

(狙い) お子様が手に取りやすいアイテムを媒体に、親御さんが各情報誌を手取るきっかけをつくる

(概要) スカイマークの利用者の特徴として、九州、関東、近畿の地域でファミリー層が多いことに着目。「お子様が手に取る→親御さんが手に取るきっかけとなる」というロジックのもと、お子様が興味を持ちやすいアイテム (スカイマークの飛行機等を活用したかわいらしい POP) を機内誌や絵本に取り付け、手に取ってもらう。

■ 「プロジェクト学習(航空業界を知る)」講義概要(ご参考)

【概要】

スカイマークとの共同授業で、短期集中で開講。航空業界が抱えている課題を、異なる専門性を持つ学生らの協働的な視点で問題解決を試みるプロジェクト型学習*を行う。航空業界に興味がある学生にとっては、職務内容にイメージが湧きやすく、キャリア教育の一環としても位置づけられる。

※ 「プロジェクト学習」とは

アクティブラーニングのひとつである PBL (Project-Based Learning) 型の学習方法。学部の枠を越えた共通教育の一環として、近年本学が注力している教育のひとつ。実社会のリアルな課題に対して、文献調査やフィールドワーク、インタビュー等のグループ活動を通じてアプローチする。年次に関係なく受講可能で、他学部の学生および企業・自治体との協働による高度教養教育として展開している。

【背景】

関西の主要 3 空港の一体運営が 2018 年 4 月に開始され、関西の航空需要の高まりが注目を集めている。その一角を担う神戸空港は、神戸市中心部からの空港アクセスが大幅に改善されるなど利便性が向上し、訪日外国人をはじめ、さらなる利用者の増加が期待されている。

【講義スケジュール】

春学期開講科目のため、6 月 8 日、15 日、29 日、7 月 13 日の 4 日間に分けてすでに実施済み。

→今回の企画は、同講義の学修成果として、講義内で学生らが提案したアイデアを社会実験として実際に検証するというもの。



<スカイマークとの事前打合せの様子@神戸空港>